

[砂川市義務教育学校建設]

第2回 市民建設ワークショップ

～子どもが楽しく過ごすことができる学校を考えよう～

開催報告

1 開催概要

日時	令和5年3月23日（木）18:00～20:30
会場	砂川市地域交流センターゆう 「大ホール」
主催	砂川市教育委員会
参加者	12名（うち高校生4名）
プログラム	<ol style="list-style-type: none">1 開会あいさつ2 オリエンテーション (1) これまでの振り返り (2) 新しい学校の活動イメージ (3) 本日の進め方3 グループワーク「新しい学校の活動イメージを考えよう」 (1) みんなの庭（外部空間） (2) 学びの森（共用部） (3) 大きな家（教室+WS）4 発表タイム・まとめ5 閉会

2 当日の様子



グループワークの様子



グループワークの様子



グループ発表



グループ発表



グループ発表



グループ発表

3 各グループのワークシート

A グループ

外部空間 新しい学校の活動イメージを考えよう

緑にあふれ、地域と育む「みんなの庭」

This worksheet is titled 'External Space' and focuses on creating a school environment where greenery and community are integrated. It features a grid of nine photographs showing various outdoor activities: a baseball field, a group of people in a courtyard, a large covered outdoor area, a garden, a person watering plants, a group of people working in a field, a person on a golf course, a group of people on a field, and a person on a tennis court. Each photo is accompanied by several yellow and blue sticky notes with handwritten Japanese text, providing ideas and feedback for the school's outdoor spaces.

共用部 新しい学校の活動イメージを考えよう

校舎全体が学習のきっかけに満ちた「学びの森」

This worksheet is titled 'Common Area' and focuses on creating a school environment where the entire building is a place for learning. It features a grid of nine photographs showing various indoor school spaces: a modern library, a study area with bookshelves, a common room with a red sofa, a study area with a desk and chair, a study area with a desk and chair, a study area with a desk and chair, a study area with a desk and chair, a study area with a desk and chair, and a study area with a desk and chair. Each photo is accompanied by several yellow and blue sticky notes with handwritten Japanese text, providing ideas and feedback for the school's common areas.

教室+WS 新しい学校の活動イメージを考えよう

ひとりでもみんなでもいつでも居心地の良い「大きな家」

This worksheet is titled 'Classroom+WS' and focuses on creating a school environment where every space is a comfortable and welcoming place for learning. It features a grid of nine photographs showing various classroom and workshop settings: a classroom with a desk and chair, a classroom with a desk and chair, a classroom with a desk and chair, a classroom with a desk and chair, a classroom with a desk and chair, a classroom with a desk and chair, a classroom with a desk and chair, a classroom with a desk and chair, and a classroom with a desk and chair. Each photo is accompanied by several yellow and blue sticky notes with handwritten Japanese text, providing ideas and feedback for the school's classrooms and workshops.

B グループ

外部空間 新しい学校の活動イメージを考えよう

緑にあふれ、地域と育む「みんなの庭」

This board features a central theme of 'みんなの庭' (Everyone's Garden) for outdoor spaces. It includes several photographs of school grounds, such as a large green lawn, a circular garden area, and a playground. The board is densely covered with handwritten notes on sticky papers, detailing ideas for community engagement, environmental education, and recreational activities. A central diagram shows a circular path connecting different areas of the school grounds.

共用部 新しい学校の活動イメージを考えよう

校舎全体が学習のきっかけに満ちた「学びの森」

This board focuses on the '共用部' (Common Areas) of the school, titled '学びの森' (Forest of Learning). It displays various interior scenes, including a library, a study area, and a common room. The board is filled with handwritten notes suggesting ways to utilize these spaces for learning, such as creating quiet zones, providing resources, and encouraging collaborative work. A central illustration depicts a large, open-plan interior space with people engaged in different activities.

教室+WS 新しい学校の活動イメージを考えよう

ひとりでもみんなでもいつでも居心地の良い「大きな家」

This board addresses the '教室+WS' (Classroom + Workshop) areas, titled '大きな家' (Big House). It shows images of classrooms and workshop spaces. The board is covered with handwritten notes that discuss creating a warm, comfortable, and flexible environment where students can work individually or in groups. Ideas include flexible seating, accessible resources, and a supportive atmosphere for learning and creation.

C グループ

外部空間 新しい学校の活動イメージを考えよう

緑にあふれ、地域と育む「みんなの庭」

This section features a 3x3 grid of photographs depicting diverse outdoor school activities. The top row shows a large green field with people, a group of children playing, and a circular paved area. The middle row includes a garden area with people working, a person climbing a tree, and a playground with slides. The bottom row shows a soccer game on a field, a group of people on a field, and a group of people on a snowy slope. Each photo is surrounded by handwritten notes on blue and yellow sticky papers, detailing observations and ideas.

共用部 新しい学校の活動イメージを考えよう

校舎全体が学習のきっかけに満ちた「学びの森」

This section features a 3x3 grid of photographs showing various indoor school common areas. The top row includes a large open-plan study area, a library with bookshelves, and a study desk. The middle row shows a colorful study area, a staircase area, and a study area with a desk. The bottom row depicts a study area with a desk, a study area with a desk, and a study area with a desk. Each photo is accompanied by handwritten notes on blue and yellow sticky papers.

教室+WS 新しい学校の活動イメージを考えよう

ひとりでもみんなでもいつでも居心地の良い「大きな家」

This section features a 3x3 grid of photographs showing various classroom and workshop settings. The top row includes a classroom with a desk, a classroom with a desk, and a classroom with a desk. The middle row shows a classroom with a desk, a classroom with a desk, and a classroom with a desk. The bottom row depicts a classroom with a desk, a classroom with a desk, and a classroom with a desk. Each photo is accompanied by handwritten notes on blue and yellow sticky papers.

4 当日のご意見

(1) 活動イメージ ～こんな過ごし方ができそう～

1) みんなの庭（外部空間）

「・」は、付箋に書かれたご意見

遊ぶ（遊具・雪・異学年交流）

- ・異年齢の関わりをつくるきっかけとなる遊具があることで、遊んでいる小学校低学年を中学生の子がサポートできる
- ・丸太が遊具にもなりそう
- ・いろいろな学年が同時に使えるような工夫が必要
- ・小学生はよく外で遊ぶ。中学生も、広い空間があれば楽しく遊ぶことができる
- ・上靴のまま遊びに出られるような場所があるとよい
- ・除雪車が作った山ではないところを使って雪あそびができる
- ・歩くスキー、雪合戦大会、雪中運動会などいろんな雪遊びをしてほしい
- ・雪が降ったらソリ遊びができる
- ・岩見沢市立南小学校のグランド横にある「南風山」のように仮称「砂川山」をつくると低学年のスキー授業に活用したり、眺めのいい場所ができる
- ・山があると冬は積もった雪で自然と雪山になるので小学校低学年ではスキーの練習ができる

運動やスポーツをする

- ・屋外で体を使ったスポーツ教室などができそう
- ・体幹トレーニングができそう
- ・オリンピックで憧れた子どもたちがいるはずなので、スケートボードのリンクにするのも良い
- ・スケートボードのリンクを大人が用意するのではなく、子ども主体でつくるプロセスが大切
- ・部活に入っていない子も体を動かすことができる

外で授業する

- ・外の空間でタブレットで授業を受けられる
- ・時々外で授業をすれば非日常が感じられる
- ・外だと自然に交流が生まれるので青空教室が良い
- ・いろんな仕事を知ると勉強をすることの意義を早く理解することができる

農作物を育てる

- ・自分たちが作った野菜などで調理実習をする
- ・学校の中に小さい畑ではなく、大規模な畑があるとタネを植えてから収穫まで、多くの子どもたちが自由に様子を見に行ったりできて、学校に愛着がわきそう

- ・教室に居たくない時は農園で過ごせても良い

眺めを楽しむ

- ・スカイウォークから下を見おろしたり、いろいろな活用方法がありそう
- ・どこからでも見やすい視点をつくる階段や段差がある

起伏を楽しむ

- ・くぼんでいるところに隠れたり友達と座っておしゃべりしたり、外でも落ち着いた活動ができそう
- ・広く走り回れる場所は鬼ごっこができたり、起伏がある場所は子どもも喜ぶし、足腰を鍛えながら遊ぶことができる

水遊びや実験をする

- ・水を溜めて水遊びをする
- ・実験など、水を使って授業ができる

くつろぐ

- ・休み時間だけでなく、放課後や休日に友人や他の人とゆっくりできる
- ・学校に行けない子どもも外の空間だったら行ける

工作する

- ・木工作など外の開放的な場所だからやりやすい活動ができそう

歌う

- ・歌をうたう

2) 学びの森（共用部）

「・」は、付箋に書かれたご意見

グループで学習や作業する

- ・大人数のグループワークや放課後に宿題ができそう
- ・テスト期間にみんなで集まって勉強できる
- ・円の机はいろんな人の顔を見ることができるので教え合いができる
- ・小中学生の時からグループで話し合う学習機会がある
- ・グループ学習でも使うことができそう
- ・協力して作業など体験をすることにより、交流ができるし、仲良くなれる
- ・年代の異なる子との交流ができる
- ・同じ作業体験を通じて、小学校は図工、中学校は社会教育など、違う科目を学ぶことができる

同じ場所で過ごし方が選べる

- ・人が広めの個室空間で集中できそう
- ・周りの視線を気にせずに宿題に集中できる
- ・一人でもグループでも居ることができる
- ・一方では発表したり、一方では1人で読書をしたり、同じ空間でも様々な活動ができる
- ・小さなスペースで集まって話すことができる
- ・授業でも使うこともできるし、休み時間にボール遊びなど遊んでも良い場所になりそう
- ・仕切りがあることで緩やかな領域ができて、他の場所で遊ぶ人の邪魔になったり、場所取りで喧嘩にならない

本を読む

- ・少し壁があるだけでゆっくり読むことができる
- ・本があるだけで人が集まりそう
- ・低学年から高学年まで様々な世代に合う場所になっている
- ・異学年交流が自然に生まれそう
- ・地べた、ソファ、個室など気分に合わせて空間を選択できる
- ・教室に居づらい時はここに来ることができる

給食やおやつで交流する

- ・給食の時間が短いので、1カ所に集まることで食べる時間が長くなるのではないかな
- ・気軽に集まって食事やおやつを食べながら楽しむことができそう
- ・放課後に自由におやつを食べたり、集まっておしゃべりをしたりできる
- ・他学年との食事は交流にもなり、明るい学校になる

異クラス・異学年が集まる

- ・実際に2クラスが入れる教室をつくった
- ・複数のクラスが集まれる広い空間があるとよい
- ・どの学年が受けても良い授業をやる
- ・小さい子も大きい子も気軽に話を聞けるスペースになりそう

プレゼンする

- ・プレゼンテーション、学習発表会の合唱練習など、発表の場として活用できそう
- ・興味があることについて発表できる

ダンスをする

- ・ダンスができそう
- ・ダンスの発表やプレゼン練習をすれば注目を浴びることができる

イベントをする

- ・文化祭をやると楽しそう

3) 大きな家 (教室+WS)

「・」は、付箋に書かれたご意見

自由に過ごす

- ・自由な場所でグループワークできる
- ・自分で学ぶ場所を決めることができる
- ・様々な場面で使いやすそう
- ・ゴロゴロしたり、遊んだりしたい
- ・どこで何をしてもいいよ、という空間にしたい
- ・授業中でも本を取りに行くことができる
- ・短い休み時間でも本と触れ合うことができる
- ・放課後に少人数やひとりで長い時間残っていてもいい場所になってほしい
- ・教室っぽくないクッションやソファがあるとのびのびできるイメージなので
- ・個性を活かすことができる空間になりそう

モニターを使ったプレゼンや授業をする

- ・子どもの主催のイベントを行う際の学級会等に活用できそう
- ・発表の機会は自信をつけることにつながる
- ・プレゼンや発表の場として使えそう
- ・パソコンを使う授業が増えるので発表で使えそう
- ・タブレットやテレビを使う授業で使うことができる
- ・モニター使う授業は教室よりも見やすく、移動して使うことができる
- ・移動して使うことができる
- ・音楽など鑑賞の授業でも役立ちそう

収納・整理整頓する

- ・あまり見たことのない新しい収納の形がよい
- ・収納は実際に使っている人の感想を聞いて良いものを採用する工夫が必要
- ・子どもは忘れ物が多いので、自分の棚があって、自分の物を一カ所に置いて、自分で管理できるスペースはとても良い。低学年には特に必要だと思う
- ・特に冬はいろんな装備があるので収納できると良い
- ・学習の物とジャンパーや帽子などそれ以外で分けることができると良い
- ・遠いところから登校する生徒たちのために置き勉強ができる
- ・教室に入りにくい子どもも気持ちをつくるスペースになりそう

アート活動や作品展示をする

- ・違う学年の作品の展示を見ることができそう
- ・低学年も見てすごい壁画アートができそう
- ・壁に作品を展示したり、模造紙を貼って自由に落書きしたり、子どもたちが好きなように空間を使うことができそう
- ・壁が動くので子どもたちの集中力に合わせて使い方ができる

授業時間も休み時間も同じ場所を使う

- ・教室のすぐ外に座ったり、休憩したりできれば少し息抜きができる
- ・廊下から授業を受けることができそう
- ・発表したり、休み時間に走り回ったり、授業と休み時間の区別がなく使えそう
- ・移動時間が短くすぐに遊ぶことができる

気分転換する

- ・キッチンスペースがあるので食べ物や飲み物で気分転換ができてモチベーションが上がると思う
- ・カフェ的空間にして給食時間で使えそう
- ・学年に合った内容の本が近くにあると手に取りやすい

宿題を教え合う

- ・宿題を学校ですますことができる
- ・異学年でも宿題を教え合える
- ・ベンチを机代わりに勉強ができる

異クラス・異学年が集まる

- ・クラスの枠を超えて集まりやすそう
- ・支援級の子たちもここで授業をして交流を深めたい

(2) 活動イメージ ～地域にできること～

【凡例】付箋に書かれたご意見

○：みんなの庭（外部空間）／□：学びの森（共用部）／・：大きな家（教室+WS）

1) 地域の活動団体と一緒に育てる学校

地域のさまざまな活動団体と一緒にこんなことができたらいいな、という多くのご意見をいただきました。

町内会

- 町内会で行事を行ったり、砂川市のイベントで使うこともできるかもしれない
- 単独では活動が難しくなった町内会も合同でイベントなどを行えるかもしれない

地域活動団体

- 砂川プラススタイルと演奏会ができそう
- 劇や人形劇ができそう
- 子育て支援サークルの方が利用すれば、子育て支援事業もできそう

地域の農家さん

- 地域の中の農家さんに指導してもらって作ったものを食べる体験ができる面白い
- 小学校で苗植えをしたことがあり、農家さんに協力してもらって苗植えを一緒にやる
- 市内の農家さんに教えてもらい、観光農園にすることで経済を学ぶことができる

民間事業者

- 市内のお菓子屋さんとアップルパイを作る
- いろんな職業の方たちと話せる機会をたくさん作る

子ども会

- 子ども会の方々と連携した雪遊びができそう

PTA

- PTA で屋外ヨガ教室ができると良い
- 食事をするだけでなく、机を外せばPTAの学年レクなど行事としても利用ができそう

2) 地域住民と一緒に楽しむ学校

地域住民も子どもたちと一緒に、こんなふうに学校を楽しみたい、という多くのご意見をいただきました。

子どもも大人も一緒に集まる・遊ぶ

- 親子で休みの日も遊べると良い
- 放課後や休日、授業に影響がなければ平日も、地域の家族連れや幼児さんも遊び来ることができると良い
- 子どもが集まれば親も集まりそうなのでそこでのコミュニティが生まれそう
- 学校の中というよりも隣接するような感じで地域の公園的になると良い
- 敷地との境界にあれば地域の公園的に使うことができ、みんなが集まれる安心感がある
- 地域の大人たちも出入りできる
- 大人も子どもも一緒になって楽しめそう。あまりそういう機会や場所がない
- 地域の大人が行う自主保育ができそう
- 屋外の電源やマイクがあるとイベントに活用できる
- 近所の方が散歩やウォーキングで使えそう
- 大人も一緒に身体を動かす機会になるかもしれない
- 地域の人にとっても子どもの様子を見ながら憩いの場になりそう

親子が中心に集まる

- 地域の人を入れるよりは親子を中心にしてほしい
- 入って来ることができる人を、ある程度限定したほうが良い
- 開放する日を限定したほうが安心

- 学校開放する日「地域参観日」など年に何回かの開放日を設定する
- お願いした地域の人が入ってくることは良いが、他の地域の人誰でも入ってこられることが不安なので、線引きをどうするか考える必要がある

作物を育てる

- 地域の人たちと一緒に作物を作って、できたものを地域の人たちにも配る
- 親と子が共同で作物を育てることで家族の中が深まりそう
- 学校農園があれば自分たちが作って食べる食育や地域の大人と一緒に作る地域交流ができる

地域住民が先生になる

- 地域の人も子どもと話せてゆっくり過ごせる
- ステージでトークショーなど、みんなで集まって話を聞くことができる学びの場になりそう
- ちょっとしたスペースを使って地域人材を生かした出前授業ができそう
 - ・図工の片付けや家庭科の授業など地域の人がお手伝いできそう
 - ・紙芝居や絵本の読み聞かせなどがあると落ち着く空間になりそう

地域の人と一緒に図書館を利用・運営する

- 図書館代わりに親や地域の人が入りやすそう
- 親が本を借りて読むことができる
- 地域の人でも使える図書館になりそう
- 本の管理は大変で扱い方の指導も必要なので、地域の人で本を整理するボランティア
- 登録されたボランティアさんによる、本の管理や読み聞かせ
- 誰かのおすすめ本棚を週替わりで紹介する
- 地域の人や親や子どもの発表など気軽に見れて楽しめる
- 子どもの作品展示会を開催し、地域の方も自由に見られる機会をつくる
- 地域の人たちも集まることのできる空間になりそう

地域の人への開放日がある図書館にする

- 図書館として独立していない空間に地域の人が入ってきて本を読んでいるのは抵抗感がある
- 地域の人が入ってきても良い場所や時間を決める必要がある
- 地域の方の方向けに開放時間や日にちを設定して使ってもらう